

# 化学肥料低減計画書(実施報告書)

※太線で囲われた内容を記入してください

秋用肥料 6～10月購入分	春用肥料 11～5月購入分
※どちらかに○をつけてください	

## 作付概要

作物名	作付面積(a)
その他	
計	

作付面積が多い順に2つの作物とその面積を記載

←残りの作物の面積を記載

←全面積を記載

氏名(法人・組織名)	
住所	
電話番号	— —
Eメール	@

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。  
※チェック☑した上で、署名してください。

**氏名(自署)**

---

## 記載方法

- 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

前年度に取り組んだ内容に  
○をつける

前年度の取組と同じ項目に○を  
つける場合は1つ以上◎をつける

◎をつけた取組メニューはここに取組の  
拡大・強化内容を記入する(別紙参照)

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組	取組の強化・拡大内容
ア 土壌診断による施肥設計			
イ 生育診断による施肥設計			
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入			
エ 堆肥の利用			
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)			
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)			
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用			
ク 緑肥作物の利用			
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用			
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用			
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)			
シ 局所施肥の利用 (例)側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等			
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用			
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの 施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)			
ソ 地域特認技術の利用 ( )			

実施状況 聞き取り票	取組メニュー	令和5年12月時点 (中間報告)	令和6年12月時点(実施状況報告)		今後の取り組み	
		実施状況	取組面積	取組メニュー	取組面積	
			a	a	<input type="checkbox"/> 拡大・強化( ) <input type="checkbox"/> 新規取組 ( )	a

取組実施者記入